

8/9(日) まいど! 倫理です。アトが向の8月、念入る筆が、あつて、8月、誰しも
予測おそれる出来事ばかりでござります。筆は長り入る。

今週の 倫理

結果は天の領分、使命の遂行は己の領分

2021. 8. 28~9. 3

8月のテーマ | 倫理経営

1244号

A氏は大手保険会社の外交員からスターとして、数名を束ねるリーダー、エリアの統括役へとキャリアを積んできました。

昨今、社会が大きく変容する中、仕事を失った働き盛りが数人、A氏の指揮する支店に採用されました。

新規採用者は、設けられた期間内(二年)に契約目標をクリアできると、固定給が増額して待遇が安定します。A氏は自分の顧客のケアをしつつ、新人教育に力を注ぎました。しかし、期限まで残り半月を切った時点で、誰一人目標に届きません。

彼らに設定された目標は、例年でも達成が困難なものでした。それでも、未経験の世界へ飛び込み、真つ新たな気持ちでA氏の指導を受けとめ、懸命に駆け回っている彼らに対して、A氏は「何とか目標を達成させてあげたい」と思い悩み、倫理経営指導を行なえる資格を持つ講師に苦境を訴えました。すると、講師は「弓道をご存じですか」と聞き、次のように言いました。

「多くの人を束ねて事業を遂行するリーダーは、『離す、任せる』ことが肝要です。『弓を引いて、矢を離す』時には、的をよく見て、しっかりと立ち、深い呼吸で弓を引き、そして離すのです。後は何もできません。矢を離れた瞬間、結果はすでに決まっています。そして、結果は天の領分です。Aさんは来週、最後のミーティングを行なうとのことですね。その時、弓道で的を射る気持ちになって臨んでみてはどうでしょう。それまで貴方は、何をして場に臨むで



結果は天の領分 使命の遂行は己の領分

でしょうか? その時、如何なる心で弓を射るでしょうか?」

弓道は未経験のA氏でしたが、揺れる心で弓を引こうとしていた自分に思い至りました。「期日前の最後のミーティングでは、伝えるべきことをしっかりと伝えた後は、彼らを信じて送り出そう。リーダーの自分がしっかりと的(目標)を見据えて、無心で矢を放つように、やるべきことを全力で行なう、当日を迎えよう」と心を定めました。オフィスに帰ったA氏は、新人教育に心血を注いだ日々を思い返したのです。

彼らはA氏からの指導を真摯に受けとめて学び、仕事への誇りを持って着実に成長していました。そのような彼らにA氏は敬意を払っています。それらを再確認して教育に、日々ベストを尽くしました。

そして、ミーティング当日は、新人を含めた外交員を信じて送り出し、目標の締め日を迎えました。その結果として、エリアの目標達成と共に、新規採用者全員の目標もクリアすることができたのです。

A氏は涙を浮かべて、新規採用者のクラスアップを祝福しました。他エリアのマネージャーから「例年でも難しいことなのに、凄いいぞ!」と称賛されたのです。

結果を引き寄せるためには、「**不断の努力**と**如何なる心で行なうか**」が鍵となることは言うまでもありません。目標を見据えつつも結果に捉われず、己の領分には、その時その場で全力を尽くして、日々前進していきたいものです。